

# 天然温泉で ゆつくりと 湯ったりと



SPA① 日本海を眺めながら縄文浪漫ロマンに包まれる  
縄文真脇温泉

寒い冬  
体の芯から温まるものといえば温泉  
縄文真脇温泉、柳田温泉、黒川温泉、なごみ  
今日は、この能登町自慢の4つの温泉を紹介  
仕事の疲れを癒すため  
心をリフレッシュするため  
雪かきで冷え切った体を温めるため  
家族で触れ合うひと時のため  
ゆつくり、ゆつたり、のんびりと  
温泉に入ってリフレッシュしませんか

- SPA ① 縄文真脇温泉 (真脇)
- SPA ② 柳田温泉 (国民宿舎能登やなぎだ荘)
- SPA ③ 能登七見健康福祉の郷「なごみ」
- SPA ④ 黒川温泉 (老人福祉センター山せみ荘)

**真脇** 脇遺跡の背後の丘に、平成5年にオープンした縄文真脇温泉は、日本海や遺跡公園を眺めながら開放感にひたれる温泉として注目されています。  
温泉の建物は男性と女性を象徴しています。男性的な外観の浴場は「あすなるの湯」として、あすなるの木をたぐ

くくさん使って天に向かうような力強さがあります。女性的な外観の浴場は「いらかの湯」として、岩と瓦を使い、曲線をいかした女性らしさを表しています。どちらの湯にも広い露天風呂が設置されていて、自然を眺めながらゆったりと温泉に入ることが出来ます。ほかに、洞窟風呂、サウナ、超音波風呂など魅力的でユニークな浴槽がたくさんあります。また、2つの浴場を楽しんでもらえるよう「あすなるの湯」と「いらかの湯」は毎週日曜日に男湯と女湯を入れ替えています。

源泉は、地下約1000mからわき出ているアルカリ性高張性高塩泉で、神経痛、筋肉痛、関節炎、慢性消化器病、冷え性、慢性婦人病などに効能があるとされています。  
なお、温泉の成分が非常に濃いため、内風呂ではお湯を足していますが、露天風呂では、源泉かけ流しとなっています。  
営業時間は午前10時から午後10時までで、月曜日が休館日ですが祝日などは営業しています。詳しいお問い合わせは縄文真脇温泉【☎621-4567】までお願いします。



**わたしと縄文真脇温泉 (鈴木信雄さん・小木)**  
わたしは、富山から小木に単身赴任して10年になります。真脇温泉は、銭湯なみの料金で入浴できるので、毎日のように通って疲れを癒やし、明日への仕事の糧となっています。わたしの気に入っているところは「サウナ」と海を展望できる「大露天風呂」です。サウナでは、熱さを我慢するため回数も増え、多くの知り合いができました。おかげで、能登のさまざまなイベントやお祭りの様子などを教えてもらい、能登を満喫しております。今年は豪雪でしたが、露天風呂につかりながら見る雪は、とても風情があります。さらに真脇温泉では、年に数回のイベントがあり、その中でもとてもうれしいのが「節分の日の豆入り袋」の無料進呈です。子どものころに豆をまいたことを、懐かしく思い出します。  
わたしにとって真脇温泉は、心身共にリフレッシュでき、人々との和が広がる心安らぐ場となっています。今後も、真脇温泉を愛好していきたいと思っています。

### SPA②

自然に囲まれた空間で、のんびりした時間を過ごす

## 柳田温泉

**柳** 田温泉は国民宿舎能登やなぎだ荘と併設の温泉で、昭和51年に御前山の中腹にオープンした能登やなぎだ荘は豊かな自然に囲まれた、静かな山あいの温泉として人気を集めています。

建物は鉄筋2階建てで、宿泊はもちろん、結婚式や各種研修、会議など幅広く利用されています。浴場に足を運んでまず目につくのは、脱衣場のロッカーにつけられたさまざまな名前。男湯には鳥の名前、女湯には花の名前がつけられています。浴室には大きな窓があり、雑木林などの自然が望めて開放感があります。浴槽は、ジェット水流風呂、気泡風呂の奥に大きな浴槽があり、ゆっくり静養できる温泉です。

柳田温泉の自慢は良質のお湯。アルカリ性低張性温泉で、肌がすべすべになるお湯です。このお湯は、ナトリウム、硫酸を多く含み、循環器

系疾患によく効くとされています。浴用では、高血圧症、動脈硬化、慢性リウマチなどに効能があり、飲用では、胆のう炎、肝臓病、慢性便秘、肥満症、糖尿病に効能があるとされています。



温泉は年中無休で、営業時間は午前7時30分から午後9時30分となっています。詳しいお問い合わせは、能登やなぎだ荘【☎76-1550】までお願いします。



わたしと柳田温泉（瀬戸久雄さん・石井）  
昨年12月の思わぬ早い降雪は、わたしたちに忘れかけていた雪国の厳しさを思い起こさせました。暖冬のイメージがいつの間にか心に住み着き、冬支度をおろそかにしていたのかも少しかもしれません。雪かきに冷えた身体を柳田温泉に浸すと心まで癒されます。滑らかな泉質の特色

に、町民はもとより町外のファンが多いのも納得させられます。わたしも毎日欠かさず温泉に親しんでおりますが、新町となり国民宿舎や併設の柳田温泉が増えた実感がありません。

この柳田温泉の台地は南北朝時代きつての山城であり、奥郡最大の規模を誇る柳田城跡といわれる歴史的な遺跡です。また、毎年やなぎだ荘で開かれる県全域の俳句愛好者を対象とした俳句大会では、昼食の「七種粥」が大変好評です。年々柳田温泉のファンが増え、本大会も発展しているのが誠に喜ばしい限りです。

温泉の恵みはわたしたちに、心と体の芯まで和らげ、温め、明日への英気を授けてくれます。これこそ生きる法悦の境地といえます。

**能** 登七見健康福祉の郷「なごみ」は平成16年にオープンした施設です。屋内温水プールや流水プール、温泉浴場を備え、健康づくりや世代間交流の場として整備されました。



広々とした浴場には、気泡風呂、サウナなどが設置され、たっぷりのお湯と広い洗い場が特徴です。また日本海を望む露天風呂はウッドデッキとなっていて、波の音を聞きながら遠く立山連峰や夜には漁火を望むことができます。

「なごみ」の源泉は、地下約1500mからわき出る高張性中性温泉です。温泉成分がとても強いので、お湯を加えてありますが、



神経痛、関節痛、冷え性、慢性消化器病、慢性皮膚病などに効能があるとされています。

お風呂上がりもゆったりとくつろぐことができるようホールや大広間、レストランなども広々とした空間となっています。なお、浴場にはタオル、シャンプー、石けんなどの備えつけがないので、持参するか施設内で購入する必要があります。

営業時間は午前10時から午後10時までで、月曜日が定休日（祝日の場合は翌日）です。詳しいお問い合わせは「なごみ」【☎67-8200】までお願いします。

### SPA④

一人の男により開かれた温泉

## 黒川温泉



黒川温泉に入る山口さん

**黒** 川のためには何かしようと思つて温泉を掘った」黒川温泉は黒川在住の山口昭二さんが昭和52年に掘削した温泉です。当時民宿を営んでいた山口さんは、自宅の裏山を地下400mまで採掘しました。のちに権利を旧柳田村に売却し、村は黒川地区に老人福祉センター「山せみ荘」とセミナーハウス山

びこを建設。その浴場に黒川温泉を引き込みました。

山せみ荘は午前10時から午後6時までの営業で、日曜日と祝日が休館となっています。セミナーハウス山びこは宿泊すると浴場を利用することができます。

山口さんは、「毎日山せみ荘にいつ温泉に入っている」と話してくれました。

問い合わせ：山せみ荘 ☎ 76-1246

### SPA③

水中運動施設と温泉が融合した健康増進施設

能登七見健康福祉の郷「なごみ」